

岡山県医療審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和5年3月27日（月）14時30分～15時30分
- 2 開催場所 岡山県医師会館 401会議室
- 3 出席委員 松山正春、難波義夫、武田俊彦、西岡宏樹、伊達元英、池宗敏文、高田清彦、大西泰子、岡崎文代、飛山美保、江本公一、二宮一枝、坂本八千代
(15名中13名)

4 審議経過

(1) 開会

14時30分開会。

半数以上の出席により会議の成立を宣言。

(2) あいさつ

保健福祉部長 あいさつ

(3) 審議概要

協議① 会長等の選出について

- ・互選で選出することとされているが、委員からの意見がないため、事務局から会長に松山委員、副会長に難波委員を推薦し、賛成多数により松山委員を会長、難波委員を副会長に選出。
- ・松山会長が議長となり、議事録署名人として、難波委員と二宮委員を指名。

協議② 災害拠点病院の指定について

事務局から資料により説明。

(質疑なし)

適当と認めるとして答申をすることとなった。

協議③ 岡山県病床機能再編支援事業に係る再編計画について

事務局から資料により説明。

(質疑なし)

適当と認めるとして答申をすることとなった。

報告① 第8次岡山県保健医療計画の進捗状況等について

報告② 医療審議会部会の審議状況等について

事務局から資料により①と②について続けて説明。

【委員】

目標の設定には何か基準があるのか。

【事務局】

指標の設定は、当初策定時に国の指針を参考に、本県の実情を考慮したものを設定している。以後、中間見直しで見直しをしていないものについては、6年間同じ指針で定点観測をしている。

【委員】

自己評価の達成度は、どのぐらいから良とされるのか。

【事務局】

評価の考え方は、資料3の3ページでお示ししているとおり、それぞれ率や数値で評価基準を定めており、3が標準とされているので、少なくとも3以上を目指して取り組んでいる。

【委員】

3を下回っているものはどうか。

【事務局】

いくつか3を下回っているものがあるが、今後詳細に分析し、担当課あるいは関係者の皆様とご相談しながら、次の保健医療計画の中でどのように対応していくか考えていく予定としている。

【委員】

あと1年あるので、その間に検討して改善をする必要があるかと思う。

概ね進捗状況は良いということによろしいか。

【事務局】

部分的に見るとまだ足りないものもあるので、そういったものは今後改善をして参りたい。全体としては、概ね中程度は維持していると自己評価をさせていただいている。

【委員】

項目が多く、全てをきちんと出来るようにはなかなかいかないかもしれないので、これだけはするという必須項目のようなものを作り、優先度を決めて取り組むことも必要だと思うがいかがか。

【事務局】

次の計画を策定する際には、そういったところも含めて考え、努力したい。

【委員】

また、保健医療計画などを立てるときは、どこかに岡山県の特徴を出していただきたい。厚労省からの要望などに従うだけでなく、その中から岡山県で特に必要とされる場所や重要なところを、岡山県らしくやっていくということが大切だ。そうでなければ、国の保健医療計画でもいいわけで、地域の実情に沿って、今回の計画でも、そのあたりを十分に検証し、第9次の保健医療計画につなげていただきたい。

以上ですべての審議を終了し、議長が閉会を宣言した。